

# 令和7年度新宿区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名：新宿区立中落合第二保育園

施設所在地：新宿区中落合2-7-24

## ○ 活動テーマ

草花遊び



## ○ テーマ設定理由

新宿区内にありながら、自然豊かな園庭を有する中落合第二保育園。その環境を生かし、日頃から自然に触れ遊ぶ中で広がっている子どもたちの興味・関心をすくわくプログラム活動を通して、より深め探求する楽しさを味わえるようにしていきたいと考え設定しました。

## ○ 活動スケジュール

令和7年 5月14日「畑作りに挑戦」

令和7年 5月27日「育ててみたい植物を植えてみよう」

令和7年 6月25日「園庭の草花を使ってグリーンブーケ作りに挑戦」

令和7年 9月 5日「育てた藍を使って染色体験」

令和7年11月 7日「身近な公園の自然について学ぼう」

令和7年12月10日「秋の実を使ってチャーム製作体験」

令和7年12月13日「親子でオブジェ作り体験」

## ○ 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

活動内容に合わせて、植物の苗やシャベル、ラッピング材料やグルーガンなど、日常的に触れる機会の少ない道具などを含め様々に準備しました。また活動日以外にも自然に触れる中で調べてみたいことを調べられるよう、ポケット図鑑や身近な植物に詳しい絵本を多く設定したり、自然豊かな環境持続のため土のリサイクルボックスを製作したりし土の再生を行いました。



## ○ 探究活動の実践 活動の内容

- ・「畑作りに挑戦」  
園庭の花壇の土作りをしました。講師のちとせさんから、雑草を土に混ぜ込み寝かせると肥料になることを教えてもらい、畑の土に園庭の雑草を集め混ぜ込みました。
- ・「育ててみたい植物を植えてみよう」  
みんなで整えた畑の土が落ちついてきたので、話し合っただけで育てたい植物の苗を植えました。(たで藍・ひょうたん・マリーゴールド・すいかなど)
- ・「園庭の草花を使ってグリーンブーケ作りに挑戦」  
園庭で成長した木々の葉や枝とちとせさんが用意してくれたグリーンを組み合わせてブーケを作りました。子どもたちの発想で思いもよらぬ個性的かつ素敵なブーケができました。
- ・「育てた藍を使って染色体験」  
育てた植物で染物をしたい、という子どもたちの声から、たで藍を栽培し、収穫して染色体験をしました。緑の葉が、藍色に染まる不思議な体験を楽しみました。
- ・「身近な公園の自然について学ぼう」  
年度を通して講師をしてくださっているちとせさんと、近隣の馴染みのある公園へ出かけ、自然について一緒に学びました。
- ・「秋の実を使ってチャーム製作体験」  
散歩先や園庭で拾った秋の木の実をいかしたチャーム作りをしました。初のグルーガンは、立体的に製作が進み夢中になりました。
- ・「親子でオブジェ作り体験」  
秋の実を使って作ったチャームや毛糸・綿・リボンなどを使って親子でオブジェ作りのイベントを行いました。

## ○ 活動中の子供の声、子供同士や保育者との関わり

話し合っただけで決めた栽培物を育てる過程で、生長に期待をもちたり次の活動に期待をもちたりする姿がありました。活動や日々の世話が次へつながっていく実感を得ている様子が伺われ、その期待に共感したり期待が現実になるよう、保育者も調べたり、講師に相談して対策したりするようにしました。

特に、チャーム作りは日頃触れない道具も使用し、立体的に作品を作る楽しさを味わったことが「もっと作りたい。」という意欲へとつながりました。

## ○ 振り返り 振り返りによって得た先生の気づき

栽培物の世話をする過程で、次の活動に期待をもちているからこそ、栽培物を慈しみ世話をしようとする姿が見られ、期待する気持ちが主体的に関わろうとする姿へつながっていることを感じました。また、次につなげたい思いが、土のリサイクルボックス製作の活動となり、リサイクルボックスでは土の再生以外にも、虫の居場所となっていることが子どもたちの日常的な遊びを通して分かりました。

すくわくプログラムの活動を通して、次へつながる何かが、子どもたちの目線では、新しい発見へとつながり、その発見がまた探求する気持ちを育てていると感じています。



# 令和7年度とうきょうすくわくプログラム (中落合第二保育園)

